

ることなど

RELATIONS

- Follows well : Aconite
- Followed well by : Arsenicum album, Digitalis, Kali carbonicm, Cimicifuga, Zincum metallicum

- Compatible : Arnica, Iris
- Complementary : Spongia
- Antidoted by : Aurum, Camphora, Cocculus, Pulsatilla
- Antidote to : Colchicum, Mercurius

Spongia tosta 焙焼した海綿(スポンジ) [空咳]

Roasted Sponge

BACK GROUND

Spongiaは、後生動物、側生動物、海綿動物門に属するスポンジ状の動物、カイメンです。後生動物の中でもっとも原始的な動物群です。実際に、この動物がそのままスポンジになります。事務用品や化粧のメイ



クに使われているものです。カイメンは世界各地に生息していますが、ホメオパシーでは、シリアとギリシアに近い地中海産のカイメンを原料とします。

カイメンは地球上で最初が多細胞生物と考えられていて、そのため、他の多細胞動物の後生動物、原生動物と区別され、唯一の側生動物生物と分類されています。最初が多細胞生物とあって、細胞同士の結合はかなり緩く、バラバラにしても個々で生きられ、またしばらくすると細胞が集まって再生します。6億5,000万年前の、先カンブリア時代の化石にも残されています。

カイメンは、比較的浅い海の岩礁の岩の下面のような、直射日光の当たらない日陰に、多数の細胞が集合した形で群生しています。成体はすべて固着性です。カイメンは組織中に、珪酸や炭酸カルシウムからなる

骨片やコラーゲン、スポンジンといったケラチン様海綿繊維などが存在しており、これらの骨格構造(Spicules)がカイメンの組織の強度を高めています。この骨格は、カイメンが産生する毒物や忌避物質などの化学物質とともに、他の動物による捕食防止に役立っているといわれています。カイメンの成長は非常にゆっくりで、寿命も長いようです。

カイメンは、種類によって多くの生物や微生物と共生します。カイメンを甲羅に植えて擬態するカイカムリガニや、カイメンの中に暮らす多くの生物もいます。またスポンジ構造の中は、非常に多様な微生物で構築されています。

スポンジですので、体表には孔が開いています(側面の小孔と上にある大孔)。海水は小孔から入り大孔から出て、内部にはこれらを結ぶ水溝と、鞭毛室と呼ばれる多数の腔所があります。鞭毛運動によって海水が循環し、この腔所に存在する多数の「えり細胞」が、海水中のプランクトンなどの有機物を栄養源として濾過摂食します。神経系はないとされています。

カイメンは、呼吸器系に作用する毒(とくに isoagatholactone)と、大腸菌に対して抗菌性をもつ生物活性物質をもっています。この毒性は、80℃以上の熱で破壊されます。

医薬の分野では、13世紀に Arnold von Villanova が、甲状腺腫の治療に用いて成功した記録があります。当時のヨウ素不足による甲状腺の異常に対し、ヨウ素を豊富に含むカイメンが好影響を及ぼすことが、およそ500年後に証明されました。

カイメンに存在する物質は多様で、多くの薬に応用されつつあります。カイメンを応用した薬には、白血病に効果のあるシトシン・アラビノシド(フロリダ産のカイメン)や、抗ウイルス作用をもつアデニン・ア

ラビノシド（カリブ産のカイメン）が比較的によく知られています。

さらに、ニュージーランドのリソデンドリクスというカイメンには、ハリコンドリニンBという抗癌成分があり、オーストラリア産のカイメンには、抗マラリア作用の物質があることが知られています。実験段階のものでは、カリブ産のパゼラというカイメンは、エイズウイルスの複製阻害作用があります。また、別のカリブの深海のカイメンからは、ディスコデルモリドという非常に強力な免疫抑制作用と抗癌作用をもつものがあります。この物質は、シクロスポリンの1,000倍もの効果があると期待されています。

MATERIAL

レメディは、この地中海産のカイメンをきれいに洗ってからカットして、茶色になるまで焙焼します。それを粉にして、1.2gのカイメン焼粉を400滴のアルコールに溶かし、1週間漬け込んだものを原料として使用します。

カイメンのマザーティンクチャーの成分には、カイメン自体のほか、ヨウ素、臭素、シリカ、炭酸カルシウム、リン酸カルシウム、ヨウ化カリウム、塩化ナトリウムなどが含まれています。

FIRST PROVING

ハーネマン（『Materia Medica Pura』第6巻、1821）

MIND

このタイプの人には、おいしいものや珍味が大好きで、非常にお腹が空きます。喉も渴きます。甘い物で悪化します。

AFFINITY

Spongiaは、主に呼吸器粘膜（とくに喉頭と気管）、腺組織（とくにリンパ節、甲状腺、睾丸）、心臓、リンパ腺、神経に親和性があります。

CLINICAL APPLICATIONS

■呼吸器粘膜（呼吸器粘膜の乾燥）

- ・咳：吠えるような空咳、木をノコギリで切るような

音の出る呼吸と咳、呼吸困難や窒息感があるとき、真夜中前に悪化します。飲食で好転することがありますが、冷たい飲物で悪化することもあります。ときに咳がひどくて、窒息して死んでしまうのではないかと怖れることがあります。

- ・急性喉頭炎：吠えるような空咳が発作のように起こり、呼吸困難になることがあります。喉はいがらっぽく、締めつけられるように感じます。
- ・喘鳴性喉頭炎
- ・僧房弁閉鎖不全症の咳：利尿剤でコントロールできないとき
- ・動悸：夜に悪化、生理前に悪化、横になると悪化
- ・喘息：夜や睡眠中に悪化、呼吸器感染症で悪化、生理中に悪化
- ・狭心症

腺組織

- ・硬結を伴うび慢性甲状腺腫、正常な甲状腺機能のあるもの
- ・頻脈を伴う甲状腺機能障害、パセドウ病
- ・硬化性腺腫
- ・睾丸炎/副睾丸炎：腫脹して、痛みを伴う炎症があります。

このレメディは、Drosera同様に家族に結核の病歴がある場合や結核症の場合にはよく処方されます。甲状腺のケースには低ポテンシーで始めます。

MODALITY

- ▶ 熱い飲物、温かい食事、頭を上げて横になること（逆の場合もあります）、少量の食事など
- ◀ 夜、とくに真夜中前、頭を下げて横になること、乾燥した冷たい風、暖かい部屋、満月、睡眠中に起こされること、睡眠後、動くこと、歩くこと、腕を上げること、触られること、患部の圧迫、甘い食べ物、話すこと、歌うこと、右下に寝ることなど

RELATIONS

- ・ Antidoted by : Camphora
- ・ Follows well : Aconite, Hepar sulphur
- ・ Followed well by : Bromium, Carbo vegetabilis